

令和5年度第3回名取市地域包括支援センター運営協議会 概要報告書

- 日時 令和6年2月6日(火) 午後3時～午後4時
- 会場 名取市役所 議会棟3階第1・2委員会室
- 出席者 尾形会長、大橋副会長、中鉢委員、藤委員、田端委員
(欠席者:土手内委員、森委員、千田委員)
事務局 安倍部長、中山課長、佐藤課長補佐、高橋主幹兼係長、
佐藤技術主幹、山崎技術主幹

○ 傍聴者 なし

○ 会議概要記録

1 開 会

2 挨拶 尾形 会長

3 議 事

- (1) 令和6年度名取市地域包括支援センター運営方針・業務方針(案)について
(事務局より説明)

〈質疑〉

委 員:第9期介護保険事業計画と関連は怎么样了なっていますか。

介護業務の生産性の向上やサービスのレベルアップと地域包括の関りはどうですか。

事務局:市全体の計画として第六次長期総合計画があり、その下に地域福祉計画・地域福祉活動計画があります。その計画を盛り込んで、令和6年4月から第9期介護保険事業計画が実施されていきます。令和6年度の方針から、業務全体にかかるものとして作成しました。業務マニュアル的なものではありません。認知症施策の推進では、「チームオレンジ」の創設など、計画に沿って作成しています。

委 員: I 方針策定の趣旨の内容は、計画を盛り込んでいるのですか。

事務局:第9期計画との細かい関連は入っていません。

委 員:介護予防サポーターと認知症サポーターとの違いは何ですか。

事務局:介護予防サポーターは、養成講座を修了し介護予防のための体操を、住民主体で毎週開催している通いの場で活動しています。認知症サポーターは養成講座で知識等を習得し、スキルアップ講座でスキルを上げて、今後はチームオレンジとして活動していく予定です。

委員:おれんじサポートなとりとはどのようなものですか。

事務局:認知症が疑われる方で、医療につながっていない方を受診につなげたりしています。

議長:自分もおれんじサポートなとりの一員なので説明しますと、医師、看護師等の専門職のチームです。住民の方から直接相談を受けるのではなく、地域包括支援センターと連携して対応しています。

委員:知らなかったです。最初の窓口はどこになるのですか。

議長:地域包括支援センターが窓口になります。

委員:地域包括支援センターやケアマネジャーが、介護サービス施設を紹介してくれるのですか。

議長:施設は直接で、在宅の方はケアマネジャーが対応します。

委員:どういうサービスが良いのかは、どこに相談すればいいのですか。

事務局:要介護の方はケアマネジャーになります。担当のケアマネジャーいない場合は、地域包括支援センターが担当します。

議長:地域包括支援センターだけでなく、介護サービス事業所でも相談にのってくれます。

委員:予防はどこに相談すればいいのか。地域包括支援センターに相談に行こうと思う人がどれだけいるのでしょうかと思います。地域包括支援センターの周知が必要と思います。

委員:基本的な考え方として、職員の姿勢よりセンター長の姿勢をもっと詳しくあったほうが良いのでは。

事務局:別にもっと具体的なマニュアルがあり、それに記載しています。

委員:マニュアルがあれば良いです。

PDCAサイクルを表記されていれば良いと思います。

事務局:事業計画で作成していきます。

委員:近所の認知症と思われる夫婦で言い争いが耐えない家がある。どうやってフォローすればいいですか。受診ですか、地域包括支援センターに相談すればいいですか。

事務局:心配な時は、まず主治医に相談を。それが難しい場合は、地域包括支援センターに相談を。家族からの相談で、地域包括支援センターとおれんじサポートで受診支援等をします。認知症サポーターは地域で支えています。

議長:地域包括支援センター主催の地域ケア会議で話し合っていくこともできます。

委員:未然に防げるような組織作りがあればいい。地域ケア会議には老人クラブを是非呼んでほしいです。

議長:他に質問がなければ、議事を終了いたします。

- ・事務局より:名取中部地域包括支援センターが2月26日に事務所を大手町五丁目に移転しました。詳しくは、本日配布したリーフレットをご覧ください。
- ・安倍部長から今回で委員の任期が終了になるので皆様に御礼を申し上げる。

4 閉会